



タンDEM自転車走行可能なしまなみ海道

「しまなみ海道」は全国の自転車愛好者が「二度は走ってみたい」と熱く注目する、唯一、自転車や徒歩でも渡れる本州と四国を結ぶ連絡橋だ。この特徴を活かして「自転車を地域の観光ブランドとして育てていきたい」と始まった「しまなみ×自転車」の取り組みは、2005年の「サイクリングモデルコースづくり」事業にさかのぼる。

しまなみ海道が開通し、年間数百万人が訪れる人気の観光地となったが、車窓から風景を楽しむだけだったり、一部の観光スポットに立寄るだけだったり、通過型旅行者が大半で、島での滞留時間はとかく短い。多島美や雄大な橋の景観だけではなく、ゆるやかに流れる島の時間、受け継がれる風土や文化、農漁業や産業と共に息づく島の暮らしなど、島そのものの魅力を伝えたい、そんな思いを持つ島民を交えて座談会を繰り返し続けた。

都市部を中心とした自転車ブームにも後押しされ、五感をフルに働かせて地域を堪能できる自転車の旅の素晴らしさと可能性に、やがて地元住民も気付くようになっていった。

自転車の旅は、観光スポットという点を結ぶ単なる移動手段だけには留まらない。



全長約4kmの大橋で空中散歩

移動の過程をまるごと楽しむ「線の旅」なのである。ふいに立ち止まり迷い込んだ路地裏、収穫の手をとめて話しかけてくれた住民の笑顔。過去に行った自転車モニターツアーでも、そんな何気ない日常に触れられることの評価が高かった。

こうした気づきから提唱したのが「しまなみスローサイクリング」。スローは、スピードが「ゆっくり」なだけではない。人と人、人とモノ、人と自然などの「つながり・思いやり」に価値を置き、豊かな生活をじっくりと熟成させていく、古くて「新しい」物の見方であり、地域の文化である。そんな地域の文化を自転車の旅を通して伝え、

世界に誇る  
「自転車ブランド しまなみ海道」



特集 1

# 自転車ブランドを活かした住民参画でまちづくり



NPO法人  
シクロツーリズムしまなみ  
代表理事

山本 優子





# 地域づくりに取り組む NPO法人

守っていききたいというのが活  
動のコンセプトである。

**地域密着で旅行商品開発**

「スローサイクリング」とい  
うコンセプトをもとに、地域  
資源を掘り起こしブラッシュ  
アップに取り組んだ。ふとした  
ひらめきを形にしながらの試行錯誤。農家  
による「畑カフェ」の開店、自転車旅行者向  
けの携帯用弁当「二輪弁」など、自信を持っ  
て提供できるものが次々と生まれた。



地元農家と試行錯誤して開発した  
自転車旅行者向けの「二輪弁」

で、定期的に参加  
してくれるリピー  
ターが多い。飲食、  
体験、土産など、旅  
先での楽しみを提  
供してくれるのは  
住民。その橋渡し  
をするのがガイド  
の役目。農漁家の

## 持続可能なまちづくり活動

食卓に招かれたような温かい雰囲気、そこ  
で生まれるコミュニケーションは格別の思  
い出となる。

「自転車旅行者に販売してみよう」と地域  
づくりビジネスへ舵をとり、2009年4  
月に「NPO法人シクロツーリズムしま  
なみ」を設立。地域資源を活用した「着地型旅  
行商品」に着目し、新しい価値観で事業化を  
模索、地域活性化を  
目指すチャレンジ  
を開始した。

自転車の旅は、今そこにあるものに新た  
な価値を見出す旅であり、それは、まちお  
こしにもつながっていく。自転車旅行者の  
受入れに、新たな観光開発、設備  
投資は不要。必要なのは、ちよつ  
と視点を転じる発想だ。例えば、  
MY自転車を大切にしている彼らの  
ために、宿泊施設内で自転車を  
安全に保管するだけでもポイン  
トはアップする。暑い時期にマ  
イボトルを持参する人に冷たい  
ミネラルウォーターを給水して  
あげるのもいい。そんなちよつ  
とした心遣いのできるところ  
を、本会では「パートナーシヨッ  
プ」として自転車旅行者に紹介  
を行いながら、受入れ側の啓発  
にもつなげている。

事業の柱は「自  
転車ツアー」。自転  
車の専門家であり、  
地域の隠れた魅力  
を知り尽くしたポ  
タリングガイドが  
同行しサポートす  
る。「地元の人と仲  
良くなれた」、「ガイ  
ドブックにはのっ  
ていないスポット  
に感動した」と好評



路地裏では地元島民との会話がはずむ

路地裏では地元島民との会話がはずむ

## 各種イベントツアーを開催しています。

- 7/24(日)  
「夏休みサイクリングエコツアー  
今治城のナゾをとときあかせ！」
- 7/31(日)  
「伯方島スペシャル 畑deカフェ」
- 8/27(土)28(日)  
「安芸灘とびしま海道を渡る  
瀬戸内海ぐるりサイクリング」
- 10/22(土)23(日)  
「しまなみ海道へ行く しまなみ島走サイクリング」
- 11/6(日)  
「自転車ライフ応援ポタリング 輪行で行こう！」

詳細はWEBで。 <http://www.cyclo-shimanami.com/>

欧米のように自転車旅行文化（シクロ  
ツーリズム）の意識や整備が定着してい  
るとはいえない現状の中、その普及と地域活  
性化を両輪で進める活動には、もちろん課  
題も多い。船や列車といった公共交通との  
連動、車社会の中での自転車安全走行、自  
転車のマナー向上など、解決への道のりは  
程遠い。ただ、日本でナンバー1のサイク  
リングコース「しまなみ海道」から、発信す  
る意義は大きい。「しまなみの暮らしに共  
感してくれる旅行者を増やす」「住民が無  
理をせず継続的に関わるしくみをつくる」。  
活動当初からの想いは今でも変わらない。  
しまなみの暮らしに共感し、サポーターに  
なってくれる自転車旅行者とのつながりを  
日々大切にして、これからも活動を続けて  
いきたい。